

### 浅井裕介

1981年東京都生まれ。各地で採取した土と水で描く「泥絵」シリーズ、マスキングテープに耐水性マーカーで描く「マスキングプラント」シリーズなど、身近な素材を用い、あらゆる場所に奔放に絵を描き続ける。アトリエでの個人の制作にとどまらず、大規模なプロジェクトでは、地元の有志など第三者との共同作業を交えながら、植物、動物、人間、また動植物といったモチーフにより、生命力溢れるイメージをつくり出す。近年の主な個展に、「なんか/食わせろ」(ANOMALY、2020年)、「浅井裕介―絵の種 土の旅」(箱根彫刻の森美術館、2015–2016年)、「yamatane」(Rice University Art Gallery、ヒューストン、2014年) など、グループ展に「生命の庭」(東京都庭園美術館、2020–2021年) が挙げられる。

### 丸山純子

1999年立命館大学国際関係学部で環境と経済を専攻、卒業。2002年ニューヨーク市立大学ハンターカレッジで彫刻を専攻、卒業。身の回りのものを素材に、風景を作り直す。2004年Free Art Free 準グランプリ受賞、2007年公益信託 大木記念美術家助成基金授与、2009年台北市・横浜市アーティスト交流プログラム審査員特別賞受賞、2021年文化庁新進芸術家海外研修制度にて渡独、2023年Pollock-Krasner Foundation 授与。

### 志村信裕

1982年東京都生まれ。2007年武蔵野美術大学大学院映像コース修了。2016年から2018年まで文化庁新進芸術家海外研修制度により、フランス国立東洋言語文化大学 (INALCO) の客員研究員としてパリに滞在。身近な日用品や風景を題材にした映像インスタレーション作品から、近年では各地でのフィールドワークを元に、ドキュメンタリーの手法を取り入れた映像作品を制作。ローカルな視点から、可視化され難い社会問題や歴史に焦点をあてるプロジェクトを手がける。

### 山縣良和

writtenafterwards デザイナー、coconogacco 代表
1980年、鳥取県生まれ。2005年セントラル・セント・マーチンズ美術大学卒業。2007年に「writtenafterwards (リトッパアフターワーズ)」を設立。2015年日本人として初めて LVMH Prize にノミネート。デザイナーとしての活動のかたわら、ファッション表現の実験と学びの場として「coconogacco」を主宰。2021年「coconogacco」が第39回毎日ファッション大賞 鯨岡阿美子賞を受賞。

## 開館45周年記念

## ミレーと4人の現代作家たち

### 1種にはじまる世界のかたち

Jean-François Millet

### プロローグ：落ち穂拾い／和田英作

1	和田英作	落ち穂拾い	1903	油彩／カンヴァス	84.8×113.0	東京藝術大学
---	------	-------	------	----------	------------	--------

### 第1章 移動、創造／山縣良和

2	ジャン＝フランソワ・ミレー	ポーリース・V・オノの肖像	1841–42 頃	油彩／カンヴァス	73.0×63.0	山梨県立美術館
---	---------------	---------------	-----------	----------	-----------	---------

3	ジャン＝フランソワ・ミレー	ダフニスとクロエ	1845 頃	油彩／カンヴァス	82.5×65.0	山梨県立美術館
---	---------------	----------	--------	----------	-----------	---------

4	ジャン＝フランソワ・ミレー	古い罫	1862 頃	油彩／カンヴァス	50.8×61.6	山梨県立美術館
---	---------------	-----	--------	----------	-----------	---------

5	ジャン＝フランソワ・ミレー	グレイヴィルの断崖	1870	油彩／カンヴァス	24.0×33.0	山梨県立美術館
---	---------------	-----------	------	----------	-----------	---------

6	ジャン＝フランソワ・ミレー	眠れるお針子	1844–45	油彩／カンヴァス	45.7×38.1	山梨県立美術館
---	---------------	--------	---------	----------	-----------	---------

7	ジャン＝フランソワ・ミレー	ダニエル・ブーンとキャラウエイの娘たちの掠奪	1851	リトグラフ	36.0×53.5	山梨県立美術館
---	---------------	------------------------	------	-------	-----------	---------

8	ジャン＝フランソワ・ミレー	ダニエル・ブーンとキャラウエイの娘たちの救出	1851	リトグラフ	36.0×53.5	山梨県立美術館
---	---------------	------------------------	------	-------	-----------	---------

9	ジャン＝フランソワ・ミレー	あの人はいったいどこにいるの？	1848	リトグラフ	17.0×14.5	山梨県立美術館
---	---------------	-----------------	------	-------	-----------	---------

10	ジャン＝フランソワ・ミレー	「農婦（パンを焼く女）」の習作	1853	木炭／紙	25.2×17.2	山梨県立美術館
----	---------------	-----------------	------	------	-----------	---------

11	ジャン＝フランソワ・ミレー	「箕をふるう人」の習作	1847 頃	黒鉛筆／紙	31.0×22.0	山梨県立美術館
----	---------------	-------------	--------	-------	-----------	---------

12	ジャン＝フランソワ・ミレー	習作6（水瓶を運ぶ人）	1855–60 頃	鉛筆、黒インク／紙	12.4×8.1	山梨県立美術館
----	---------------	-------------	-----------	-----------	----------	---------

13	ジャン＝フランソワ・ミレー	「モンマルトルの土木工事人」の習作	1848–50	木炭／紙	36.0×27.0	山梨県立美術館
----	---------------	-------------------	---------	------	-----------	---------

14	ジャン＝フランソワ・ミレー	習作8（農村の家族のデッサン）	1855 頃	鉛筆／紙	11.5×16.4	山梨県立美術館
----	---------------	-----------------	--------	------	-----------	---------

15	ジャン＝フランソワ・ミレー	「二人の農婦」の習作	1853 頃	インク／紙	19.6×15.0	山梨県立美術館
----	---------------	------------	--------	-------	-----------	---------

16	ジャン＝フランソワ・ミレー	仕事に出かける人	1863	エッチング	38.5×31.0	山梨県立美術館
----	---------------	----------	------	-------	-----------	---------

17	ジャン＝フランソワ・ミレー	無原罪の聖母	1858	油彩／カンヴァス	77.7×44.8	山梨県立美術館
----	---------------	--------	------	----------	-----------	---------

### 開館45周年記念

## ミレーと4人の現代作家たち

ー種にはじまる世界のかたちー

**2023年7月1**日(土) — **8月27**日(日)



18
山縣良和
Field Patch Work つくりはかたり、かたりはつくり
2023

## 第2章 大地／浅井裕介

19
ジャン＝フランソワ・ミレー
鋤で土を起こして働く男
1863
木版画
14.0×10.6
山梨県立美術館

20
ジャン＝フランソワ・ミレー
落ち穂拾い
1855–56
エッチング
19.0×25.2
山梨県立美術館

21
ジャン＝フランソワ・ミレー
ジャガイモの収穫
1860頃
リトグラフ
24.0×32.0
山梨県立美術館

22
ジャン＝フランソワ・ミレー
耕す人
1855–56
エッチング
23.7×33.7
山梨県立美術館

23
ジャン＝フランソワ・ミレー
肥料を取り込む農夫
1855–56
エッチング
16.3×13.3
山梨県立美術館

24
ジャン＝フランソワ・ミレー
鋤に寄りかかる男
1855頃
エッチング
8.5×6.7
山梨県立美術館

25
ジャン＝フランソワ・ミレー
種をまく人
1851
リトグラフ
19.1×15.6
山梨県立美術館

26
ジャン＝フランソワ・ミレー
種をまく人
1850
油彩／カンヴァス
99.7×80.0
山梨県立美術館

27
ジャン＝フランソワ・ミレー
シャイイの粉挽小屋を背景にした女羊飼いと羊の群れ
1873
油彩／カンヴァス
94.0×119.0
個人蔵

28
ジャン＝フランソワ・ミレー
ヴォージュ山中の牧場風景
1868
パステル／紙
70.0×95.0
山梨県立美術館

29
ジャン＝フランソワ・ミレー
習作1（オーヴェルニュの風景I）
1866–67頃
鉛筆、黒インク、パステル／紙
11.0×15.9
山梨県立美術館

30
ジャン＝フランソワ・ミレー
習作3（オーヴェルニュの風景III）
1866–67頃
鉛筆、黒インク／紙
11.7×17.2
山梨県立美術館

31
ジャン＝フランソワ・ミレー
習作4（オーヴェルニュの風景IV）
1866–67頃
鉛筆、黒インク、パステル／紙
12.1×17.0
山梨県立美術館

32
ジャン＝フランソワ・ミレー
習作5（オーヴェルニュの風景V）
1866–67頃
鉛筆、黒インク／紙
11.4×16.4
山梨県立美術館

33
浅井裕介
移動と輸送
2023
木パネルに山梨の土、アクリルレジン、軸葉、木炭、井戸水
912.0×1240.0
作家蔵

34
浅井裕介
命の足音
2023
木パネルに山梨の土、アクリルレジン、軸葉、木炭、井戸水
160.0×147.0
作家蔵

35
浅井裕介
命の寢床
2023
アルミボードに山梨の土、アクリルレジン、軸葉、木炭、井戸水
500.0×1000.0
作家蔵

36
浅井裕介
大地と獣
2023
木パネルに山梨の土、アクリルレジン、軸葉、木炭、井戸水
131.5×111.5
作家蔵

37
浅井裕介
大地と人
2023
木パネルに山梨の土、アクリルレジン、軸葉、木炭、井戸水
131.5×111.5
作家蔵

## 第3章 再生、循環／丸山純子

38
ジャン＝フランソワ・ミレー
鶏に餌をやる女
1853–56頃
油彩／パネル
73.0×53.5
山梨県立美術館

39
ジャン＝フランソワ・ミレー
落ち穂拾い、夏
1853
油彩／カンヴァス
38.3×29.3
山梨県立美術館

40
ジャン＝フランソワ・ミレー
雁を見上げる羊飼いの少女
1865
黒クレヨン、パステル／紙
58.0×41.6
寄託

41
ジャン＝フランソワ・ミレー
高い樹林
1851頃
リトグラフ
63.0×50.0
山梨県立美術館

42
ジャン＝フランソワ・ミレー
「夏（ケレス）」の習作
1864
黒鉛筆、赤鉛筆／紙
34.0×22.5
山梨県立美術館

43
ジャン＝フランソワ・ミレー
冬、凍えたキューピッド
1865
油彩／カンヴァス
205.0×112.0
山梨県立美術館

44
ジャン＝フランソワ・ミレー
桶の水を空ける婦人
1862
ガラス版画
28.5×22.3
山梨県立美術館

45
ジャン＝フランソワ・ミレー
牛乳をかき回す女
1855–56
エッチング
17.9×11.9
山梨県立美術館

46
ジャン＝フランソワ・ミレー
ミルク粥
1861
エッチング
15.8×13.0
山梨県立美術館

47
ジャン＝フランソワ・ミレー
母親の心遣い
1862
ガラス版画
28.5×22.5
山梨県立美術館

48
丸山純子
無音花と記憶
2023
インスタレーション、木、ビニル、ワイヤー、石鹸、ロープ／素材協力：ブレアデス株式会社
作家蔵

49
丸山純子
焼き芋を売っていた
2023
ウォッシュ&スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸
21×30
作家蔵

50
丸山純子
食べているよ
2023
ウォッシュ&スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸
42×30
作家蔵

51
丸山純子
Take This Medicine
2023
ウォッシュ&スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸
23×31
作家蔵

52
丸山純子
The Taste of Salt Always Changes
2023
ウォッシュ&スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸
21×30
作家蔵

53
丸山純子
蜂の子食うか
2023
ウォッシュ&スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸
19×27
作家蔵

54
丸山純子
造花を握らせた
2023
ウォッシュ&スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸
16×23
作家蔵

55
丸山純子
それは犯罪として認められませぬ
2023
ウォッシュ&スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸
30.5×22
作家蔵

56
丸山純子
べべちゃんに会いたい
2023
ウォッシュ&スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸
33×24
作家蔵

57
丸山純子
猿か噛まった
2023
ウォッシュ&スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸
16×22.5
作家蔵

58
丸山純子
灯りが一つ一つ消えていく
2023
ウォッシュ&スクラッチ、木製パネル、食用廃油石鹸
18.5×27
作家蔵

## 第4章 人、家畜、生活／志村信裕

59
ジャン＝フランソワ・ミレー
夕暮れに羊を連れ帰る羊飼い
1857–60
油彩／パネル
53.5×71.0
山梨県立美術館

60
ジャン＝フランソワ・ミレー
羊の毛を刈る女
1860
油彩／カンヴァス
163.8×113.0
美術館ギャルリ・ミレー（富山）

61
ジャン＝フランソワ・ミレー
角笛を吹く牛飼い
不詳
油彩／パネル
38.1×27.9
山梨県立美術館

62
ジャン＝フランソワ・ミレー
二頭の牝牛
1855頃
エッチング
9.1×15.1
山梨県立美術館

63
ジャン＝フランソワ・ミレー
習作7（馬のいる風景）
1855頃
鉛筆、黒インク／紙
10.0×14.4
山梨県立美術館

64
ジャン＝フランソワ・ミレー
鷺鳥を追う少女
1865頃
水彩／紙
24.5×37.8
山梨県立美術館

65
ジャン＝フランソワ・ミレー
羊飼いの女（大）
1862
エッチング
31.7×23.6
山梨県立美術館

66
ジャン＝フランソワ・ミレー
羊毛を梳く女
1855–56
エッチング
25.6×17.7
山梨県立美術館

67
ジャン＝フランソワ・ミレー
鷺鳥番の少女
1855–56
ドライポイント
14.3×12.2
山梨県立美術館

68
ジャン＝フランソワ・ミレー
オーヴェルニュ地方の糸紡ぎ女
1868
エッチング
19.9×12.9
山梨県立美術館

69
志村信裕
Nostalgia, Amnesia
2019
45分
ビデオ